

【氏名】許 琳玲

【所属大学院】（助成決定時）名古屋大学大学院国際開発研究科

【研究題目】

オーストラリアにおける華人の政治参加

【研究の目的】

本研究は、オーストラリアにおける華人の政治参加を通して考察を行うが、その際、マイノリティ政治参加に関する研究視点を取り入れつつ、オーストラリアン華人におかれている時代と政治社会的背景、および華人コミュニティ全体のあり方等を含め総合的に考察されるものである。なお、本研究において、これまでのオーストラリア政治への華人による参与については、それぞれの華人政治参加者による具体的な事例を通して考察することとしている。一方では、本研究は華人政治参加の実態、つまりその現状、特徴、問題点および抱えられる課題等を探り、明らかにするが、他方、それらの表象の背後に、オーストラリアの歴史、政治、社会のそれぞれの有り様、並びに華人コミュニティのあり方自身が、いかに連動し、作用しているかを探求するよう試みることにした。

本研究は、マイノリティ政治参加に関する研究の一環として位置づけられるアプローチ方法を試みるが、その上に、オーストラリア社会と華人コミュニティを、異なる視点によって思考する契機をもたらすことを目指している。さらに言えば、華人による政治への参加および華人政治参加者を検討することによって、本研究は、オーストラリア多文化主義、および「チャイニーズかつオーストラリアン」というアイデンティティをめぐる論説に、良い示唆を与える探求を実施したい。

【研究の内容・方法】

オーストラリアン華人の政治参加において、オーストラリア生まれ育ちの人々——ゴールドラッシュ時代の中国人金鉱工の後代や新移民の2世等——によってこれが主導されてきた様子は伺えられなく、多文化主義時代の新移民1世が、その先頭に立ち、チャイニーズ政治参加の新たな途を切り開く役割を果たしてきたことが、

本研究の初期段階において判明されている。その点に基づき、本研究は、なぜ1世移民が華人による政治参加の主演となっているか、という問題提起に主眼を置く。それをめぐって、本研究は、華人における政治参加を分析するに当たって、オーストラリア社会および華人コミュニティの中で、華人移民の後代および華人移民1世という二つの視点それぞれの政治参加の可能性に対し調査を行った。それによって、政治参加という主題をめぐって華人コミュニティの全体を把握することができると考える。

その上に、華人移民政治参加者に焦点を当て、具体例を踏まえつつ、オーストラリア社会と華人コミュニティのはざまにある人々による政治参加の経験、積極性、示唆を思考する一方で、同時にかれらに抱えられているジレンマと課題を探り、華人による政治参加の将来への展望を考察する。華人の政治参加および華人政治参加者という視点によって、華人コミュニティを考え直し、これまでのオーストラリアン華人をめぐる研究に、新たな示唆を与えている。

なお、本研究の現地調査はチャイニーズ政治参加者に対する聞き取り調査を中心に行われ、その上に、メディア、殊に中国語メディアに掲載されている政治社会に関わる政論、時評に注目し、分析を行う。そのうち、最も興味深いのは華人政治家のために設けられるコラムである。定期的に寄せられる華人政治家のエッセイが、オーストラリアの政治社会と華人コミュニティに向けるかれらの視点を研究するには貴重な文献資料となっている。それにとどまらず、それらの主張や見解自体が、華人の政治参加および華人政治家をめぐる本研究の考察における重要な研究対象となっているのである。

【結論・考察】

オーストラリアにおける華人コミュニティ全体から見て、人々に表われる政治的関心度並びに政治参加の積極性は、90年代後半になって高まっていく動きがうかがえている。なお、オーストラリアン華人の政治参加においては、一般的に表われているマイノリティ政治参加の動きと相反し、移民1世の人々がそのうち最も活発で、成果が豊かな世代となっており、かれらが今日における華人政治参加の主導力であると言ってもよい。さらに、これまでにオーストラリアの政治に参加してきた華人政治家の大半が移民1世にとどまらず、かれらが、多文化主義時代における華

人新移民の先駆者でもあると言える。

したがって、オーストラリアにおける華人の政治参加のあり方は、歴史性、時代性、および華人コミュニティの内的な構成と特徴によって捉えることができる。それらの起因を探求することによって、これまでには、移民1世の華人たちが政治参加に必要な条件が整い、政治参加の可能性が最も高い世代であることが判明されている。その一方で、マイノリティという立場以外に、華人コミュニティ自身における言語的文化的重層性と多様性、さらに政治に対する伝統的な保守意識がなお残っているため、華人による政治参加の前途はこうした困難な局面に直面させられる。

具体的にいえば、かれらには二重的課題を抱えられている。一方では、マイノリティという立場に据える以上、華人による政治参加への試みは、オーストラリアの政治社会制度と常にせめぎ合い、それに果てしなく挑戦し超越するように努めなければならない。他方、オーストラリア政治へ参与するための挑戦とその過程が、華人コミュニティ自身に抱えられる問題と課題を問い直し、乗り切っていくことと関連しているように考えられる。なお、華人による政治参加の将来は、ほかではなく、新移民家庭に生まれる2世の若者がその使命に与えられよう。2世の若い世代が、オーストラリア社会と華人コミュニティを跨る中間者として、架け橋の役割を發揮し、政治参加の途を広めていくようにも寄与できよう。だが、それと同時に、華人コミュニティ自身が多く課題に直面されているがゆえに、今後の華人の政治参加において、急激な動きが見られるようには思えない。